

寺田縄界隈の野鳥（6） 「シギ」の仲間を撮りました。

「シギ」は、チドリ目、シギ科の鳥の総称です。

全長14～65cmの地上性の鳥で、約85種もあります。

首、脚、翼が長く、尾は比較的短く、細長いくちばしで、上に反ったり、下に湾曲したり、へら状になったりと様々な形をしています。

羽の色は雄雌よく似ていて、夏の羽は赤褐色や黒色になる種があり、冬は褐色や灰色などの地味な色になります。多くは北半球北部のツンドラや草原で繁殖し、かなり遠距離を渡り、冬は熱帯や南半球で越冬します。

日本には“旅鳥”として、春・秋に渡り、海岸、湿地、水田、草原に渡来します。

* 旅鳥：渡りの途中、年に2回春と秋に日本を通り、一時的に羽を休める鳥をいいます。

セイタカシギ



(撮影地：北豊田)

“水辺の貴公子”との異名があり、体に比べくちばし・脚が長く、端正な姿が魅力的です。シギの中でも希少種にあげられています。

「キッキッ」「ビューイ」と鳴く

タカブシギ



ムクドリよりやや小さく、「ピッピッピッ」と続けて鳴く

(撮影地：小鍋島)

タシギ



人が近づくと「ジャッ」としわがれ声で鳴き、かなりのスピードで、ジグザグ状に高く飛び去る。

(撮影地：鈴川)



トウネン その名は“今年生まれたもの”（当年）を意味するように、スズメ
ほどの小型の鳥です。「チュリ」と小声で鳴く （撮影地：金目）

コアオアシシギ（左） ツルシギ（右）



（撮影地：城所）

ツルシギ： ハトよりやや小型、「チュイッ、チュイッ」と短く鳴く
コアオアシシギ： ムクドリ大「ピョー」「ピッピッピッ」と鳴く

アオアシシギ（上） ウズラシギ（下）



（撮影地：城所）

アオアシシギ： ハトほどの大きさ「ピョーピョーピョー」と鳴く

ウズラシギ： ウズラほどの大きさ「プリーッ」、「プリリ」と鳴く